

平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
11 南城市	1 ①	スポーツツーリズム推進事業	H24 ～ R3	市陸上競技場における天然芝の適正管理を行い、プロサッカーチームのキャンプ受入に適した環境整備を行うことで、プロ・サッカーチームのキャンプ誘致に繋げる。	プロ・サッカーチームのキャンプ誘致件数:3チーム	プロ・サッカーチームのキャンプ誘致件数:3チーム	◎
11 南城市	②	尚巴志活用マスタープラン実施事業	H26 ～ R1	平成25年度に策定した「尚巴志活用マスタープラン」を実施する事業であり、尚巴志関連の文化資源を活用し、地域の歴史文化を学べる機会を創出することで、市の歴史文化に関する理解を深める。	各事業実施後、参加者に対するアンケートを実施し、市の歴史文化への理解が深まったか(80%以上)を含め、本事業のあり方について検証する。	各事業実施後、参加者に対するアンケートを実施し、市の歴史文化への理解が深まったかについて肯定的な回答:87%	◎
11 南城市	③	南城市産商品販売力強化事業	H27 ～ R2	市産商品の売上増加を図るため、市内外でのイベントで販売促進活動を行う。	商品の売上額:717,064円以上	商品の売上額:4,404,127円	◎
11 南城市	④	プロ・サッカーキャンプ等入施設整備事業	H27 ～ H30	陸上競技場及び体育館施設の機能強化を行うことで、プロ・サッカーチームのキャンプ誘致に繋げる。今年度は、サッカーキャンプ等で活用する備品整備を行う。	プロ・サッカーチームのキャンプ誘致件数:3チーム	プロ・サッカーチームのキャンプ誘致件数:3チーム	◎
11 南城市	⑤	海外交流推進事業	H28 ～ R1	アジアからの外国人観光客の増加を図るため、アジアから学生インターンシップを受け入れ、海外からの視点で南城市の観光における魅力や課題を探り、地域の観光関連事業者へ共有を図るとともに、外国人観光客に関するシーズやニーズを調査し、南城市の観光振興に繋げていく。	外国人観光客数:40,000人以上	外国人観光客数:26,367人	未
11 南城市	⑥	南城型エコミュージアム実施計画策定事業	H28 ～ R1	観光誘客を図るため、自然・歴史・文化・人など地域の魅力ある資源を活用し、新たな観光資源を創出するため、市内27地域のエコミュージアム計画を策定する。今年度は、南城型エコミュージアム実施計画(各論その2)を策定する。	南城型エコミュージアム実施計画(各論その2)策定(9地域)	南城型エコミュージアム実施計画(各論その2)策定:9地域	◎
11 南城市	⑦	アジアユース人材育成・ネットワーク形成事業	H29 ～ H30	アジア諸国と、3市村(南城市、伊江村、渡嘉敷村)の中・高校生が、豊かな自然や歴史、文化などの地域資源に恵まれた環境の沖縄で共に生活しながら地域の課題に取り組み、体験交流を深める中で、国や文化を越えた友情を育み、多種多様な文化や社会、考え方があることを直に学ぶ機会を設けることで、国際的な広い視野を持たせる。	生徒の国際的な視野がより広まったと感じたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方について検証する。	生徒の国際的な視野がより広まったと感じたかについて、保護者からの肯定的な回答:93%	◎

平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」 「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」 「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
11 南城市	⑧	観光振興将来拠点地整備事業	H25 ～ R1	大規模な公共駐車場を整備することで、各種イベント時の駐車場不足等の課題を解消し、利便性を確保する。	公共駐車場の整備	公共駐車場の整備を完了した	◎
11 南城市	⑨	観光施設危機管理対策事業	H28 ～ R2	本市を訪れた観光客が災害時等、安全に避難することができる環境を整備し、安心・安全な観光地を形成する。 今年度は、市内の観光関連施設にAEDを設置することで、緊急時における利用者の即時応急体制を確保する。	AEDを整備した施設において、救急救命(AED)講習を実施する中でアンケートを実施し、その結果「AEDを使用した適切な応急対応が理解できた」と回答した割合(80%以上)を含め、本事業のあり方について検証する。	AEDを整備した施設において、救急救命(AED)講習を実施し、その結果「AEDを使用した適切な応急対応が理解できた」と回答した割合:97%	◎
11 南城市	⑩	南城市デジタルアーカイブ実施事業	H30 ～ R3	歴史の継承及び観光誘客を図るため、市内に点在する歴史・文化財・伝統芸能といった文化遺産のデジタルアーカイブ化を実施し、情報公開・発信を行う。 今年度は、実施計画書を策定する。	デジタルアーカイブ実施計画書の策定	デジタルアーカイブ実施計画書を策定した	◎
11 南城市	2	① 平和学習受入体制強化事業	H25 ～ R2	糸数アブチラガマは、経年による崩落や周辺環境の変化による壕への影響が懸念されるため、安全・安心して見学・体験ができるよう、保全対策を実施することで、平和学習の振興及び観光誘客を図る。 今年度は、ガマ内の保全対策設計を行う。	保全対策設計の完了	保全対策設計を完了した	◎
11 南城市	3	① 優良繁殖牛導入支援事業	H26 ～ R3	農家の経営の安定化に向けて、農家に対して優良繁殖雌牛を貸し付けるものに対し支援を行う。	導入した優良母牛から産まれる子牛とそうでない子牛との価格差の割合:104%以上	導入した優良母牛から産まれる子牛とそうでない子牛との価格差の割合:114.7%	◎
11 南城市		② 優良乳用牛リース支援事業	H27 ～ R1	乳用牛の改良強化を図るため、農家に対して優良乳用牛を貸し付けるものに対し支援を行う。	・生産乳量の増加:7,917kg以上(年間) ・乳質(脂肪率)の向上:3.91%以上	・生産乳量の増加:7,380kg(年間) ・乳質(脂肪率)の向上:3.91%	○
11 南城市	4	① 低炭素なまちづくり推進事業	H28 ～ R3	防犯灯及び公共施設等の照明器具を省エネ型のLED照明に切り替え、温室効果ガスの排出削減を図る。	防犯灯及び公共施設等の照明が排出する温室効果ガス(CO2)削減:約120,000kg	防犯灯及び公共施設等の照明が排出する温室効果ガス(CO2)削減:151,674kg	◎
11 南城市	5	① 学習支援員配置事業	H25 ～ R3	児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うため、学習支援員を配置し、学力の向上を図る。	沖縄県学力到達度調査における平均正答率の差を以下のとおりとする。 ・小学校:県平均以上 ・中学校:+0.4ポイント以上	沖縄県学力到達度調査における平均正答率の差を以下のとおりとする。 ・小学校:県平均以下 ・中学校:+1.7ポイント	△

平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧

【凡例】
 「達成」…「◎」「概ね達成」…「○」
 「一部達成」…「△」「未達成」…「未」
 「繰越」…「繰」
 「遂行困難」…「-」

市町村名	事業番号	事業名	計画期間	事業内容	H30成果目標(指標)	H30成果実績(指標)	評価
11 南城市	②	特別支援教育支援員配置事業	H25 ～ R3	特別な支援を要する園児・児童・生徒に対応した支援を行うため、特別支援教育支援員を配置し、学校生活や学習上の困難の改善を図る。	特別支援教育支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方について検証する。	特別支援教育支援員の対応への満足度について、保護者からの肯定的な回答:82.2%	◎
11 南城市	③	小・中学校電子黒板等整備事業	H28 ～ H30	市内小学校に電子黒板の整備を行い、ICT機器を活用した分かりやすい授業を展開することにより、学校教育の質の確保を図る。	児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合(80%以上)を含め、本事業のあり方について検証する。	児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合:92%	◎
11 南城市	6 ①	なんじょう歴史文化保存継承事業	H24 ～ R3	地域の文化財や伝統行事、沖縄戦に関することなど、本市の歴史・文化について、整理・保存及び活用することで、歴史・文化の継承を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 『資料集 戦争』原稿執筆の完了 『民俗』実地調査による資料収集と整理 	<ul style="list-style-type: none"> 『資料集 戦争』原稿執筆を完了した 『民俗』実地調査による資料収集と整理を行った。 	◎